（別　紙）

事業の検証調書（※令和６年度に本補助金の交付を受けた事業のみ添付）

注：現事業が実施期間中の場合は、予測される成果等を記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業の名称 | （旧：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| これまでの事業の実施期間（予定含） | 年　　月　　日～　　　　　年　　月　　日 |
| (1)これまでの事業の検証 | |
| ①事業内容及び実施結果 | |
|  | |
| ②事業を実施しての数値的な実績値 | |
|  | |
| ③事業を実施して得られた成果の達成度合及び成果の内容 | |
| 達成度合：（　Ａ　・　Ｂ　・　Ｃ　）※当てはまるものに○をつけてください。  その理由：  他に成果のあった内容： | |
| ④実施結果から見える今後の課題、反省点 | |
|  | |
| (2)これからの事業の考察 | |
| ①これまでの結果を踏まえた改善点、及び発展性を持たせた点  （企画内容への反映・工夫など） | |
|  | |
| ②今回の企画の目標 | |
|  | |
| ③将来的な自立と事業の継続に向けた取組み | |
|  | |

注意

　１　(1)-①は事業内容及び実施した結果や所感などについて、端的に記載してください。

　２　(1)-②は事業を実施した成果の数値的な実績値を列記してください。（イベント参加者数、作成数、配布数、売上高等）

　３　(1)-③は②の実績値に対し、その達成度合いとその理由を記載してください。また、（1）-①②を踏まえ、得られたと考えられる成果の内容について記載してください。（※下記参照）

４　(1)-④は広い範囲への波及効果や多くの方の利益に繋がること、新たな展開に結びつけるための今後の課題、また、反省点について記載してください。

５　(2)-①②は「２　事業の企画内容」の【事業の効果】への繋がりを考慮のうえ記載してください。

６　(2)-③は将来的に本補助金によらず、事業を展開していくための方策や継続に向けた取組みがあれば、記載してください。（例：財源確保の方法など）

※<達成度合いについての目安>

　Ａ：当初の見込み以上に、十分な成果が得られた。

　Ｂ：当初の見込みどおりの効果が得られた。

　Ｃ：見込みに対し、思ったほどの効果が得られなかった。